（様式2）

資料 3-4

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度：令和7年度）】

※1～5：所管課記入、6：指定管理者記入、7～8：指定管理者、所管課及び指定管理者評価委員会記入

所管課	商工観光課
指定管理者	釜石振興開発株式会社

1 施設名等

施設名	道の駅釜石仙人峠
住所	釜石市甲子町第7地割155番4
電話番号	0193-27-8530
ホームページ	https://www.thr.mlit.go.jp/iwate/yakudati/michinoeki/31_kamaishisennin.html（岩手県道の駅連絡会公式HP）

2 施設の概要

設置年月	平成27年4月	根拠条例等	釜石市道の駅条例　釜石市道の駅条例施行規則
設置目的	道路利用者に安全で快適な道路交通環境を提供し、利便性を向上すること及び地域の振興に寄与すること。		
施設内容	1　多目的棟　木造平屋建（床面積156.50㎡） 物販（産直含む）コーナー・飲食コーナー・情報コーナー・休憩コーナー・事務室・商品搬入庫 2　トイレ棟　木造平屋建（床面積64.08㎡） 男子用　小5大2・女子用　7・多目的トイレ　1 3　駐車場　一般用41台（大型4台　身障者2台含む）・関係者7台 4　緑地広場　　5　EV充電器（急速充電機1台　普通充電機1台）		
利用料金	別紙利用料金一覧のとおり		
営業日等	休場日は12月31日及び1月1日（駐車場及びトイレ、EV充電機は常時開場する）		
営業時間	午前9時から午後6時まで（駐車場及びトイレ、充電機は常時開場する）		

3 指定管理者

指定管理者名	釜石振興開発株式会社
選定方法	公募(応募者数：1　) ・ 非公募(随意指定)
指定期間	令和6年4月1日　～　令和8年3月31日　(3年間)

4 指定管理料(決算ベース)

令和6年度（A）	令和7年度（B）	差　（A）－（B）
11,250　千円	11,000　千円	250　千円

5 指定管理者が行う業務

①施設及び設備の維持管理（施設の見回り、清掃、点検修理、緑地植栽の管理）
②施設内照明、空調、冷暖房設備の運転管理
③市特産品等物産及び農水産物の展示販売、飲食の提供
④施設利用許可、利用料金の徴収、減免に関する業務
⑤道路及び観光情報、災害時における各種情報の提供
⑥災害時における災害対策
⑦防火管理者の配置、防災マニュアルの整備、防災訓練の実施
⑧施設利用、管理（収支）状況の把握、報告
⑨事業報告書の提出
⑩上記のほか、道の駅の機能を実現するために行う事務のうち、市長のみの権限に属する事務を除く業務

6 利用実績等

(1) 利用実績　（食堂利用者数を含む販売レジロ数）　（単位：人、件、%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和　6年度（A）	7,064	8,507	6,966	7,492	9,838	7,285	9,137	10,544	6,469	6,170	5,697	8,031	93,200
令和　7年度（B）	8,048	9,624	7,753	8,444	11,095	7,277	9,974	12,159	6,722	5,462	5,498	7,831	99,887
増減数（A）－（B）	984	1,117	787	952	1,257	−8	837	1,615	253	−708	−199	−200	6,687
主な増減要因等	甲子柿の出荷量増加に伴うもの												107.2%

(2) 利用料金収入　（産直＋自動販売機）　（単位：千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 6年度 (A)	256	317	253	308	348	289	482	724	281	243	211	236	3,948
令和 7年度 (B)	227	266	326	304	346	298	597	914	302	229	206	242	4,257
増減数 (B)－(A)	−29	−51	73	−4	−2	9	115	190	21	−14	−5	6	309
主な増減要因等	甲子柿豊作にて大幅に売り上げ増 自動販売機の商品単価値上げで売上減少の傾向あり												107.8%

(3) 利用料金の見直し状況(対前年度比)

見直しの有無	有　・　(無)
(有の場合)見直し内容	

(4) 営業日・時間の見直し状況(対前年度比)

総営業日数	令和 6年度 ：	363日
	令和 7年度 ：	363日
総営業時間	令和 6年度 ：	3,267時間
	令和 7年度 ：	3,267時間
見直しの有無	有　・　(無)	
(有の場合)見直し内容		

(5) サービス向上のため実施した内容

・道の駅連携にて長崎県から柑橘系商品を仕入れ販売を実施した。
・他市町村の商品を取り入れ地域に寄り添った商品構成を実施した。
・応援企画で「釜石シーウェーブス」や地元の缶詰を取り揃えて販売に取り組んだ。

(6) 利用者の主な声とその対応状況

・売店の商品が豊富でいろいろ選べるのがわくわくする。
・道の駅に来るのが楽しい　また来ようと思う。

(7) 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)　※項目は施設の状況に応じて加除修正してください。

評価項目	指定管理者	評価	所管課	評価	指定管理者評価委員会最終評価
施設の目標に沿った管理運営	施設を適切に管理し、道路利用者の休憩所及び地域住民の憩いの場として運営できた。 また、物販・食堂の運営やイベントの開催を通じて釜石の魅力発信に努めた。	B	道の駅としての機能を適切に維持するとともに、物販や食堂運営、各種イベントの実施を通じて釜石の魅力発信に努めている。利用実績については前年度を上回り、特に甲子柿の豊作に伴う集客増加が見られた。引き続き、道路利用者の休憩施設としての機能を確保するとともに、西の玄関口として地域の魅力発信に努めていただきたい。	B	B
平等な利用の確保	適切に管理運営を行った。	B	施設利用者が快適に利用できるよう施設管理が適切に行われている。また、限られた施設規模の中で物販や休憩機能の充実を図り、利用者ニーズに応じた管理運営が行われている。引き続き公平な施設利用の確保に努めていただきたい。	B	B
利用者サービス向上の取組み	繁忙期やイベント実施時など、混雑が予想される期間には駐車場に誘導員を配置するなど、安全に施設を利用いただけるよう努めた。	B	特産品の充実や季節商品の展開、繁忙期における安全対策等に取り組み、利用者サービスの向上が図られている。また、道の駅連携による商品の仕入れや企画販売など、利用者満足度向上に向けた工夫が見られる。利用者からも好意的な声が寄せられており、サービス向上に努めていることが評価できる。	A	A
自主事業の実施	・10周年創業祭や甲子柿収穫祭、アユを楽しむ会といったイベントを実施し、集客を図った。 ・物販企画として、釜石シーウェイブス応援フェア、釜石に工場を置く「東京ラスク」の期間限定限定商品キャラクターコラボ、バレンタイン等）販売を開催した	A	10周年創業祭や甲子柿収穫祭、アユを味わう会など地域資源を活用したイベントを実施し釜石の特色を活かした道の駅の施設運営が行われている。また、SNSによる地域の魅力発信や催事によるにぎわい創出に取り組んでおり、地域振興に寄与している。一方で、敷地内を有効的に活用した催事や、産直組合との連携によるにぎわい創出に努め、持続可能な地域づくりに努めていただきたい。	B	B
職員・管理体制	最低限の人員で運営ができた。	B	少人数体制の中で施設運営を継続し、施設設備の維持管理や接客対応に適切に取り組んでいる。安全管理や防火訓練等にも取り組んでおり、適正な管理体制が確保されている。	A	A
収支状況	良好。 メイン商品である甲子柿の出荷量増に伴い、秋の売上は増加したものの、自動販売機の商品単価が、軒並み値上げになり全体としては甲子柿がカバーにて売上増となった。	B	甲子柿の豊作や食堂利用者の増加により売上が増加し、利用料金収入についても前年度を上回った。物価高騰や人件費上昇など厳しい経営環境ではあるものの、販売促進や商品構成の工夫により良好な収支状況が保たれている。	B	B
今年度(令和7年度)の取組み	物販においては令和6年度同様釜石市及び近隣市町村の特産品を取り扱い、店舗入口付近での企画販売を継続。 施設設備管理においては、植栽管理においては、草刈り等による景観維持を行う。	B	引き続き釜石市及び近隣市町村の特産品販売や企画販売を通じて地域の魅力発信に取り組むとともに、地域資源を活用したイベントの充実を図り、更なる誘客促進につなげていただきたい。また、施設設備の経年劣化を踏まえ、適切な維持管理及び計画的な修繕に努めていただきたい。	B	B

総合評価	今年度は、当駅を利用したお客様に「アユを味わう会」を実施できた。他には毎年恒例となった創業祭、甲子柿収穫祭を実施し、集客の一助となった。 レジロについては令和6年度と比較して増加したものの自動販売機の商品単価が値上となり全国的にも台数の減少を聞いております。 「花いっぱい運動」として敷地内に推薦やビオラ、パンジーなどの花を植え、お客様に目でも喜んでいただけるよう工夫した。	B	利用実績は99,887人となり前年度を上回るとともに、物販・食堂売上及び利用料金収入も増加している。また、創業祭や甲子柿収穫祭等の自主事業の実施により、道の駅としての魅力向上と地域振興に取り組んでいる。施設設備の管理についても適切に行われており、総じて良好な管理運営が行われているものと評価できる。引き続き、道の駅としての機能充実と地域の魅力発信に努めていただきたい。	B	B

〈評価分類〉 A：仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
B：おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適切な管理運営が行われている。
C：仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
D：仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

（8） 効果と課題

項　目	指定管理者	所　管　課	指定管理者評価委員会
制度の効果	施設利用者は夏場の天候不良はあったものの甲子柿が豊作により令和6年度と比較して、利用者が増加傾向にあり、一定程度の釜石市のPR効果や経済効果はあるものと考えている。	道の駅としての休憩機能、情報発信機能及び地域連携機能が適切に発揮されている。また、特産品販売や食堂運営及び情報発信を通じて誘客促進と地域PRが図られており、指定管理者のノウハウを活かした施設運営による効果が認められる。利用実績や売上も前年度を上回っており、地域振興への寄与が見られる。	・甲子柿の集客効果と併せて食堂の運営等効果的である。 ・甲子柿のみならず、地域振興に引き続き力を入れていただきたいと思います。 ・物販、食堂、トイレ等、道の駅としての目的を十分に達成することができている。
施設の管理運営の課題	施設設備の老朽化が目立ち始めているため、維持管理の更なる徹底を図り、必要に応じて設置者である市と協議しながら必要な修繕を行い。適切な管理運営を行う。	施設供用開始から10年以上が経過し、設備の経年劣化が進行していることから、指定管理者と連携しながら計画的な修繕を進めていく必要がある。また、生産者の減少や気象条件の変化による農産物確保が課題となっていることから、地域事業者や関係団体との連携を図りながら魅力ある売場づくりと安定した商品確保に努めていただきたい。さらに、、敷地内を有効的に活用した催事や、産直組合との連携によるにぎわい創出に努め、持続可能な地域づくりと施設運営に努めていただきたい。	・甲子柿以外の年内の月別の計画、生産者のモチベーション向上等を販売につなげてほしい（甲子柿+その他） ・施設の有効活用、地域特産品の確保について、取り組んでもらいたい。